

やま なか だに ほ し や  
**JR阪和線 山中溪駅 (阪南市) ~ 布施屋駅 (和歌山市)**

歩行距離 14.1km  
 標準歩行時間 2時間57分  
 標準所要時間 6時間20分  
(標準所要時間は観光、休憩を含めた時間)

山中溪の史跡を楽しみながら歩くと、いよいよ和歌山へ。熊野街道は泉州から紀州へと入ります。和歌山県最初の王子である中山王子に立ち寄りここからひたすら雄ノ山峠を目指します。峠からは紀の川の流れが一望できます。峠を下り山口、川辺、中村王子を過ぎて、紀の川を渡りJR布施屋駅方面へ向かいます。



**中山王子 ~ 川端王子**

<中山王子>和泉から紀州に入って最初の王子であり、雄ノ山峠越えの難所を目の前にした重要な宿として栄えました。藤原定家の『熊野御幸記』には、「天、晴る。ウハ目王子に参る。沢、中山王子に参る」と記されています。<山口王子>この辺りは紀伊の関、白鳥の関とも呼ばれていた関所跡でもあります。「白鳥」は村の若者に助けられ恩返しに来たという、村に伝わる「白鳥女房」の伝説に由来しています。<川辺王子>八王子社として祀ら

れ古い面影を残しています。<中村王子>紀の川越えの休憩と準備のための重要な拠点でした。<吐前王子>紀の川を渡るとこの王子があります。紀の川の渡河は、室町時代の記録によると現在の川辺橋付近を船や馬で渡ったと記されています。<川端王子>藤原定家の『熊野御幸記』には「川端王子」の表記がなく、吐前王子に迂回しなくなったために建てられた新しい王子といわれています。紀の川の渡し場として要所となりました。

**山中関所跡**

山が迫り間に川があるという、関所として適した条件を備えていた山中には、南北朝時代に関所がおかれていました。ここで課せられた関銭は、河内の観心寺に法華堂を造営するために遣ったといわれています。この関所は、江戸時代に入って廃止されました。



**山中溪の桜**

JR山中溪駅のそばを流れる山中川。その両岸に約1000本のソメイヨシノと山桜が咲き誇ります。見頃は3月上旬~4月中旬。夜にはライトアップされ、幻想的な雰囲気が漂います。わんぱく王国にて「桜まつり」が開催され、多くの花見客でにぎわいます。



**スタート地点までの電鉄情報**

大阪方面へ 天王寺駅 JR阪和線・快速 約34分 日根野駅 約15分 山中溪駅

和歌山方面へ 和歌山駅 JR阪和線 約16分 山中溪駅

**帰りの電鉄情報**

大阪方面へ 布施屋駅 JR和歌山線 約11分 和歌山駅 和歌山線・特急 約39分 天王寺駅

和歌山方面へ 伊太祁曽駅 南海貴志川線 約18分 和歌山駅 JR阪和線・特急 約39分 天王寺駅

和歌山方面へ 布施屋駅 JR和歌山線 約11分 和歌山駅

和歌山方面へ 伊太祁曽駅 南海貴志川線 約18分 和歌山駅

